

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立加唐小中学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・松島・加唐島をもっと好きになるための学習活動や体験活動に取り組んだ。 ・特別支援教育において、全職員で協力しながら言語習得や学習への意欲を高めさせることができた。 ・時間外在校時間は減少傾向にあった。 ・校内研究では、児童・生徒に応じた指導の充実に向けて取り組んだ。
------------------	---

2 学校教育目標	自ら問い、つながりの中で学び、未来をひらく子どもの育成 — 問い つながり 一歩未来へ —
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>1「問い」を軸とした授業改善:子どもの問いとこれまでの学習歴を尊重した授業づくりの推進</p> <p>2「挑戦」を支える環境づくり:自ら決定し、責任を持つプロセスの尊重</p> <p>3「安心」のための心の教育:安心して交流できる心の教育と特別支援教育の推進</p> <p>4「つながり」を深める地域連携:加唐・松島の資源を活用し、郷土への誇りを育む学習の推進</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	
				●学力の向上	●個に応じた指導による基礎的・基本的な学習内容の定着と思考力・判断力・表現力の育成	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動の推進	●「周囲への思いやり」を肯定的に評価している児童生徒の割合を80%以上にする。	・道徳に関するアンケートを実施する。 ・全教科・領域における人権・同和教育の充実を図る。			道徳教育推進担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●いじめ防止に向けて、適切かつ組織的に対応できていると回答した教員の割合を80%以上にする。	・月に1度の生活アンケートを実施し、いじめ等の早期発見、早期対応を行う。 ・人権・同和教育に関する職員研修会を実施し、教職員の知識・理解を高める。			生徒指導担当者
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動の推進	●「友だちや先生はあなたのことを理解し、認めてくれていると思う」と回答した児童生徒を100%にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒を100%にする。	・各行事で、児童が主体的に計画や役割を担い、達成感を味わうことができるよう教師がサポートする。そして達成したところを称賛し評価する。 ・体験活動等の校外学習を実施し、学んだことを生かそうとする場を設定する。			キャリア教育担当者
	◎島を愛し、地域とのつながりに積極的に活動する教育活動の推進	◎島の「歴史」や「魅力」「よさ」を探究し、島民と積極的に交流する児童生徒を90%以上にする。	◎授業や各行事(島民体育大会や文化祭、校外学習等)に積極的に参加し、自己肯定感を高める。 ◎「島の魅力や良さ」に気付かせる取組により、先人たちの努力や功績を自身の生活に生かす機会を作る。			進路指導担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ●健康を考えて行動できる能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒を80%以上にする。 ●「健康は何より大切だ」「毎日3回食事をしている」と答えた児童生徒を90%以上にする。	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施する。 ・保健だよりを定期的に発行する。 ・給食の時間に一口メモを活用し、食生活に生かせるように興味関心をもたせる。			食育担当者
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●デジタル化により、紙媒体の文書量を対前年比70%以下に削減する。 ●時間外在校等時間を昨年比15%以下に削減する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上をめざす。	・デジタルツールの活用を進め、文書のデジタル化・ペーパーレス化や情報共有を進めることで業務削減・効率化を図るとともに、情報の透明性を図る。 ・一人に業務が集中しないような仕組みを整え、働きやすく年休を取得しやすい環境づくりを図る。			管理職
●特別支援教育の充実	●ワーク・ライフバランスを意識し、離島ならではの豊かな時間の過ごし方の実践	●仕事とプライベートの両立を図り、職員の心身の健康の維持を図ることができるよう、互いに協力する。 ●お互いに相談をしやすいように、職員の心理的安全性を高める。	・家族と過ごす時間や、釣りや島内散歩、スポーツなどの趣味・余暇の時間を尊重しあう雰囲気づくりに努める。 ●各種試験や指導力向上のための研修などに取り組むことができるよう、情報提供や環境づくりに取り組む。			管理職
	●特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	●特別支援教育の視点を入れた研修を毎月1回は取り入れる。	・個に応じた学習指導の方法を工夫、改善する。 ・各関係機関との情報共有、連携を密に取る。			特別支援教育コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	
				○校内研究	●個に応じた指導による実践的コミュニケーション能力の育成	

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------